

# 市政に関する一般質問

## 医療行政

### 東千葉 メディカルセンターの 収支状況について



陵志会  
石崎公一

**問** 平成26年度の収支状況は、中期計画よりも悪化しているが、その原因と責任の所在は、フルオープンとは、予定どおりできるのか伺う。

**答** 収入においては外来患者の減や看護師不足による病棟開棟の遅れから、医業収益が減収となったこと、支出においては開院当初の業務量からの残業による給与費の増額や救急患者が想定より多く、診療材料費が増額となったことが大きな要因とのこと。地方独立行政法人の制度上、事後評価による事業年度

評価を評価委員会が行い、そこで独法の経営等の評価がなされ、客観的な評価を受けることになるため、現時点で責任の所在を申し上げる段階ではないと考えている。独法の最高責任者は理事長になろうかと考えている。平成28年度のフルオープンに向けて一番重要となることは、予定どおり看護師を確保することであり、看護師確保策を専門部署を立ち上げ、組織的に進め、計画どおりフルオープンできるような取り組みを行っている状況である。

## 医療行政

### 東千葉MCの経営に 対する組織運営体制は



陵志会  
石渡徹男

**問** 東千葉MCは本市と九十九里町とが出資した下部組織と見られると思う。組織の運営・管理問題、医師や看護師の確保等の問題、市民に対する対応の3点が挙げられると思う。問題点には本市が積極的に関わっていかなくてはいけないだろうし、また千葉大等にだけ行政として働きかけをしているのか。人的な問題も含めて今後の組織体制をどう考えて行こうとしているのか。

**答** 病院を立ち上げるにあたり、どのような組織にするか

という議論の経過から結果として、地方独立行政法人を選んだもの。独法は、設立団体から中期目標を指示し、法人側で中期計画を立ち上げ、市議会の承認が必要となるが、それに基づき努力するのが原則。中には、医師の確保も含まれており特に産科医の確保は、理事長や独法の役員等と一緒に働きかけをする予定である。常に中期目標・中期計画に沿って、行政側と法人側それぞれが役割を果たしていくことが大前提であり、今後もそのような取り組みを進めてまいりたい。

## 一般行政

### 中心市街地活性化 について



蒼政会  
坂本賀一

**問** 中心市街地活性化基本計画で設定した対象区域についてある程度範囲を狭めた新たな計画を立てることは、難しいことだが、仮にその狭いエリアで活性化に意欲のある地権者が自主的に集まって「街区」を構成できた場合、市はその「街区」と積極的に意見交換をし、活性化案を後押しする用意はあるか伺う。

**答** その「街区」というエリアの範囲、また、「街区」として、どのような活性化案を実現しようとするのか、

具体的な内容によって行政として対応する窓口も変わってくるが、基本的なスタンスとしては、そうしたご提案をいただければ、しっかりと対応する考えである。また、本年度策定予定の第4期基本計画と地方創生に関する地方版総合戦略においても、中心市街地の活性化に向けた取り組みを強化できるよう、地域の皆様のご意見などを踏まえながら、具体性を持った事業を位置付けてまいりたい。

## 一般行政

### 学校給食費 2億円の活用について



東金みらい  
清宮利男

**問** 昨年12月議会にて、東金市の年間給食費2億円を、週3日でも全校の給食メニューを統一し学校給食の食材購入に「みりの郷東金」を活用するのはどうか、と質問したところ、年間給食費の活用については、受入れ側と供給側で調整すべき問題も多いが可能性について考えてまいりたいとの答弁をいただいたが、その後の状況はどうか伺う。

**答** 本市の学校給食については、各学校の栄養士が可能な

限り地域の食材を使うよう心がけ、直接、地元の家から納めていただいたり地産地消デーを設けたりするなどの工夫をしている。「みりの郷東金」の活用については、納入方法などについて協議した結果、市内各学校への配送をしていただける運びとなった。一部の学校において市内産の味噌を購入し、学校給食の使用を開始したところである。今後は、市内全校での利活用を検討するとともに、購入品目を増やしていけるよう協議してまいりたい。

## 一般行政

### 新たな財源確保に つながる事業の創出 について



陵志会  
石田 明

**問** 現在本市の下水道事業及び農業集落排水事業で発生する汚泥の処理については、処分経費が高額となっているため、施設運営に大きな負担を与えていると考えられる。その処理に対する支出をまかなうため、例えばDBO方式というものがあるが、この方式を利用して市独自で施設を設け、汚泥を堆肥化した物を販売すれば、財政的に経費を抑えられると考えるが、どうか伺う。

**答** 本市の下水道事業及び農業集落排水事業の汚泥処

分については、年間6千万円前後を要しているのが現状で、当面は処分量、経費共に微増傾向にあるものと想定している。汚泥処分については、コンポスト化、焼却後の埋め立て、再資源化等いくつかの方法が考えられるが、メリット・デメリットがあるものと思われる。本市の汚泥発生量を踏まえ、経費削減を第一に、本市になじみ、効率的な運営ができる処分方法を社会的要因、地理的要因及び周辺環境への影響を踏まえて模索してまいりたい。

分については、年間6千万円前後を要しているのが現状で、当面は処分量、経費共に微増傾向にあるものと想定している。汚泥処分については、コンポスト化、焼却後の埋め立て、再資源化等いくつかの方法が考えられるが、メリット・デメリットがあるものと思われる。本市の汚泥発生量を踏まえ、経費削減を第一に、本市になじみ、効率的な運営ができる処分方法を社会的要因、地理的要因及び周辺環境への影響を踏まえて模索してまいりたい。

## 一般行政

### 東金市の持つ ポテンシャルを活かした 定住人口増加策について



蒼政会  
前嶋里奈

**問** 地方創生の取り組みを進める中では、民間事業者とも必要な連携を図って行くとのことだが、こうした取り組みに加えて市でも市外からの移住者に対する固定資産税の優遇措置や住宅ローンの利子補給などの助成を行うことなどはできないか。また、子育て世代に対しては、地方銀行とタイアップして金利優遇など更に手厚い制度を加えて、東金市の独自性を持った支援を行ってはどうか伺う。

**答** 国の「まち・ひと・しごと総合戦略」においても、地方への新しいひとの流れをつくること、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえることについて、基本目標の一つに掲げられており、本市においても優遇策を検討していく必要があるものと考えている。今後、地方版総合戦略を策定する過程において、他自治体の例を参考にしつつも、独自性を持った移住希望者への支援施策を実施できるよう、関係部署との連携の下、検討を進めてまいりたい。

## 一般行政

### 防犯パトロール車に ドライブレコーダーを 搭載しては



公明党  
佐竹真知子

**問** 近年、車に取り付けられるドライブレコーダーという録画機が発売されている。事件や事故の録画された映像が、防犯カメラと同じような機能を発揮しており、動く防犯カメラの役割を果たしていると思う。市内を防犯パトロールしている青色回転灯を搭載した青パトに、ドライブレコーダーを搭載してパトロールすることで、防犯強化に有効と考えるが、市としての見解を伺う。

**答** ドライブレコーダーの本来的目的は、交通事故の発生時の原因究明のため搭載するものであり、波及効果として交通事故の発生率が低下したという報告例も把握している。なお、映像を録画することにより、防犯パトロール中の不審者の発見等の効果もあると考えられる。映像に記録される個人情報を取り扱い等クリアしなければいけない点もあるが、先進事例等を参考にしながら研究してまいりたい。

## 福祉行政

### 東金市の高齢者対策の 将来像は



東嶺会  
相京邦彦

**問** これから見込まれる要介護認定者の増加について、今後の介護サービスの充実についてどのように考えているのか伺う。

**答** これから増加が見込まれる介護が必要な高齢者や認知症の高齢者に対し、地域包括支援ケアシステムの構築により在宅に必要なサービスが包括的・継続的に提供されることが必要と考えられている。今後の介護サービスの充実として、従来のサービスに加え、平成28年度から地域密着型サービスである

24時間・365日対応の「定期巡回・臨時対応型訪問介護看護サービス」を、平成29年度からは可能な限りの自立生活を支援するため「小規模多機能型居宅介護サービス」の整備を計画的に行い、在宅生活を支援するサービスの充実を図ってまいりたい。高齢者が安心して住み慣れた自宅や地域で生活できるよう、市として地域住民及び医療・介護の関係機関等と連携・協力し対策を進めてまいりたいと考えている。

市役所1階ロビーで本会議をご覧いただけます。  
市役所1階のロビーに設置されたテレビで、本会議の様子をご覧いただくことができます。